



お元気ですか!

志村 たかよし です

第620号 2012年12月9日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

区議会第4回定例会

奥村あきこ議員が一般質問

第4回定例会は、11月22日～12月4日の日程で開かれ、26日には奥村あきこ議員が、日本共産党区議団を代表して一般質問に立ちました。

今定例会は、突然決まった都知事選挙と総選挙の直前に開かれる議会となりました。

奥村議員は、石原都知事辞任と野田首相の解散について、区長の認識を尋ねるとともに石原氏が投げ出した都政の課題、とりわけ中央区に大きな影響を与える築地市場「移転」問題とオリンピック東京招致問題を取り上げました。



質問する奥村あきこ議員 = 本会議場

また、「原発ゼロ」や学校新設も含めた学校整備とともに、景気回復の決め手となる内需拡大のための「暮らしと雇用を守る」問題を取りあげました。

区長、都知事が変わっても「移転」前提の取り組みをすすめる

奥村議員が「都知事選は『移転計画』を転換させるチャンスでは」と質問したところ、区長は「(都知事が変わっても)都の取り組みは継続される。区は都との『合意(市場移転等)』に基づき総力をあげる」と答弁し「移転」推進をあらためて表明しました。

教育長が答弁で、晴海地区での学校施設整備(新設)に言及

奥村議員は、児童数の激増や少人数学級実施による学級数増の必要性を示し、抜本的な学校整備と晴海地区での学校新設を求めたところ、教育長は「学校施設総定数

奥村議員の質問項目

1. 野田首相による衆院解散について
2. 暮らしを破壊する年金削減法案と生活保護改悪、国保料の値上げについて
3. 経済対策の要となる内需拡大のための雇用確保と区の役割について
4. 「即時原発ゼロ」の実現について
5. 行き詰まった都政を投げ出した石原都知事辞任と築地市場「移転」問題、オリンピック東京招致問題について
6. 児童増、少人数学級に対応する抜本的な学校整備について

の見直しを都に要望している」とことを明かし「教育委員会では晴海地区に学校を作ることを考えている」と晴海地区での学校新設についてはいはじめの見解を述べました。
私(志村)は以前、本会議で晴海の都有地を具体的に示して学校新設を提案していましたので、教育長の答弁はうれしかったです。

「雇用問題」で、わが党の提案に積極的な答弁も

奥村議員が、中央区に本社があるIBMなど電機・情報産業で13万人の解雇計画があることを示しながらおこなった雇用の質問に対し、区長は景気回復に向けて内需拡大の重要性を示すとともに「企業の区外転出や従業員の大量解雇が地域の商店の売り上げなどに影響を及ぼす」と答え、大量のリストラが地域に及ぼす影響を認めました。

また、「不当解雇などの情報を得た場合は、公正取引委員会や労



箱崎町に本社がある日本IBM



移転計画がある大手ビール本社=新川

働基準監督署等関係機関と連携を図り、中小企業を支援する立場からの必要な対応を行っていく」と前向きな答弁をしました。

区が発注する業務に携わる施設で働く民間の従業員の労働環境を社会保険労務士会が自治体から委託されて調査している他区の事例をあげながら中央区でもやるべきとの提案にたいして、区長は「社会保険労務士会などと相談しながら、その活用も含め検討していく」と答え積極的な姿勢を示しました。

「どうなる食の安全？」

石原都知事が辞職表明 再検証のとき ~築地市場移転を考える会~

12月1日、弘済会館において「築地市場移転を考える会」で「どうなる食の安全？」（主催者：築地移転問題勉強会実行委員会）が開催されました。パネルディスカッションでは、ジャーナリストの岩上安身氏、都市プランナーの水野かほるさん、水産仲卸業者の野末誠氏、大学講師の佐藤克春氏（ビデオ参加）が出席し「土壌汚染」「移転」にかかわる問題を指摘しました。会場からは「民主党に裏切られた」「きれいになるなら



パネリストの発言に耳を傾ける参加者

移転しても良いととれる発言は避けるべき」「反対運動は市場関係者だけでなく広げなければならぬ」などの熱い意見が交わされました。



会場からは積極的な活動提案も



マスコミのとりあげが弱いと岩上氏

「意見、要望など、お気軽に」連絡ください(03-6369-6300)